

コロロメソッド発達療育支援センター 支援プログラム

| | | | | |
|------|---|-------------|------------|---------------|
| 事業所名 | 障害児通所支援事業所 コロロ琉球教室 | 支援内容 | 放課後等デイサービス | 改定日 令和8年4月20日 |
| 営業時間 | 放課後等デイサービス | 13:30~17:00 | 送迎実施 無し | |
| 法人理念 | 発達障害児者の身体の発達・社会適応力の発達を促進し生活の安定を図るとともに、障害の程度によらず発達障害児者が生涯にわたり社会適応できる支援モデルを示す | | | |

| | | | | |
|------|--|-----------|--|---|
| 支援方針 | 5領域の発達支援を概念学習、行動トレーニング、適応力トレーニングの療育の3本柱に集約し、身体の発達を促し、家庭や園、身近な地域生活への社会適応力を高める | | | |
| 本人支援 | 5領域 | 療育の3本柱 | 療育課題 | 発達段階 第二段階 ※ |
| | 認知・行動 言語コミュニケーション | 概念学習 | 学習態勢形成 | 語彙を増やし、社会生活への適応に必要な言語・認知発達を促す、1時間以上の学習 自習・板書の指導 |
| | 運動・感覚 | | 行動トレーニング | 生活・社会のルール |
| | 健康・生活 | 自立歩行の確立 | | 一定の歩調と正しい歩行フォーム 歩行速度の調整 登山 走行との分化 |
| | | 機能分化と協応動作 | | 模写・書字 道具の使い方（文具・清掃・調理） |
| | | 運動 | 左右非対称の模倣 走行・縄跳び・ボール運動・ダンス・水泳 | |
| | | 食行動 | 偏食の改善 口を閉じて咀嚼 食具の使い方 メニューに合わせた食べ方 マナー 外食 | |
| | 人間関係・社会性 | 適応力トレーニング | 基本的な生活習慣 | 身辺処理スキルの向上（排泄・歯磨き・散髪・着脱・入浴・生理の手当て） |
| | | | 健康 | 身体検査・健康診断（注射・採血・レントゲン検査等）ケガ治療、服薬、歯科治療受診に向けた指導 |
| | | | 生活技能 | 掃除・洗濯・裁縫・調理・買い物・保護者の補助 |
| 集団行動 | 集団歩行 授業中の着席 集団活動 一斉指示に応じる | | | |

※発達段階は年齢ではなく脳機能の状態によって評価するべきものです。

学童期であっても上記第二段階の課題に到達していないお子さんは、前段階の課題から療育を行う必要があります。

第一段階の支援プログラムについては児童発達支援の支援プログラムを参照してください。

| | |
|-----------------|--|
| 家族支援 | 事業所における対面相談支援（面接、親子トレーニング）、きょうだい支援（面接での聞き取りをもとにアドバイス、集団活動への参加からみえる課題の提示） 家庭支援（居宅訪問による親子トレーニング）、勉強会（事業所における対面式、オンライン式）、モニタリングや担当者会議等の支援会議への出席、 保育園・学校等への見学・指導助言 |
| 地域支援・連携 | 講師派遣事業、講演会開催、教材・機関誌販売（出版：コロロ発達療育センター）、支援会議、モニタリング、研修会など |
| 移行支援 | 四段階評価表を用いた発達評価と移行先との共有、対応法・環境設定、家族支援の内容、家庭状況の共有、併行通園の場合の重点連携事項の共有、利用日数や時間等の調整 |
| 職員の資質向上に資する取り組み | 所内職員研修（毎週）、本部講師による研修（年4回程度）、法定研修、人事考課制度（年3回）、資格取得支援制度 |
| 主な行事 | ダイナミックリズム、登山ハイキング、合宿、親子トレーニング、保護者勉強会、療育公開講座など |